

令和8年度

全国学力・学習状況調査

結果に関する参考資料

柏原市教育委員会

全国学力・学習状況調査について

1. 調査目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査対象学年

小学校： 第6学年 児童

中学校： 第3学年 生徒

3. 調査内容

(1) 教科に関する調査

小学校： 国語・算数

中学校： 国語・数学・英語(CBT)

(2) 質問調査

① 児童生徒に対する調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

② 学校に対する調査

指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

※調査問題・結果資料は、国立教育政策研究所のホームページ内に掲載されています。

調査問題： <https://www.nier.go.jp/26chousa/26chousa.html>

結果資料： <https://www.nier.go.jp/26chousakekkahoukoku/index.html>

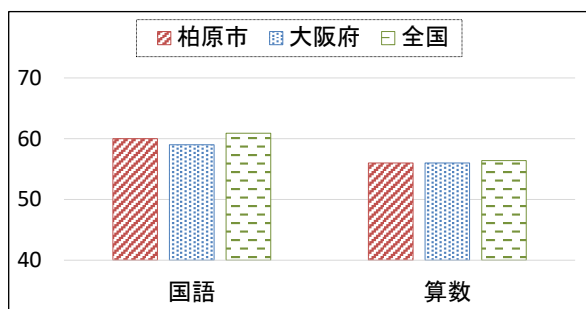
教科問題【平均正答率】

《平均正答率》

※中学校英語はCBT調査による実施。結果はIRTスコアにより示されている。

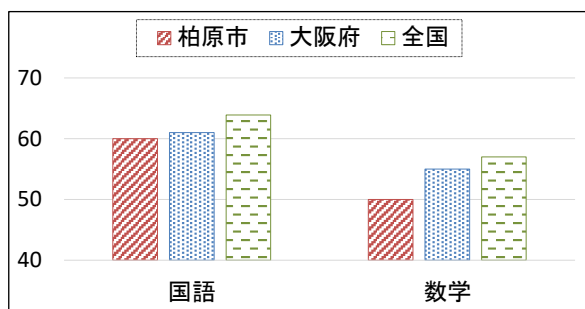
小学校

単位(%) (柏原市/全国)				
平均正答率(%)	柏原市	大阪府	全国	対全国比
国語	60	59	60.9	0.99
算数	56	56	56.4	0.99
英語				



中学校

単位(%) (柏原市/全国)				
平均正答率(%)	柏原市	大阪府	全国	対全国比
国語	60	61	63.9	0.94
数学	50	55	57.0	0.88
英語 ※「話す」含む	484	497	499	0.97



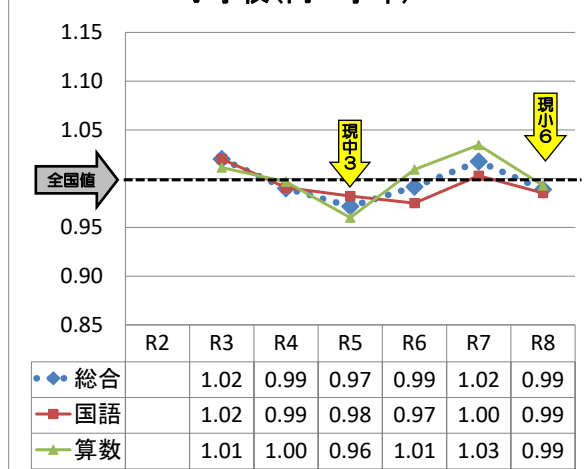
《平均正答率推移(全国比)》

※「総合」は、「国語」および「算数・数学」の平均正答率を合算した値を示している。

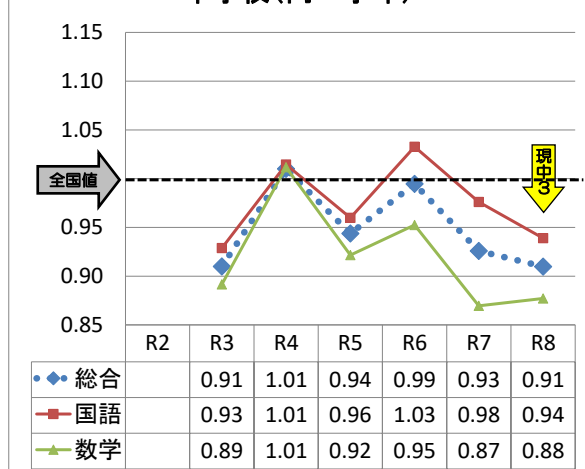
※H30年度までは、A(知識)・B(活用)に分かれた問題形式のため、それぞれを合算した値を示している。

※R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし。

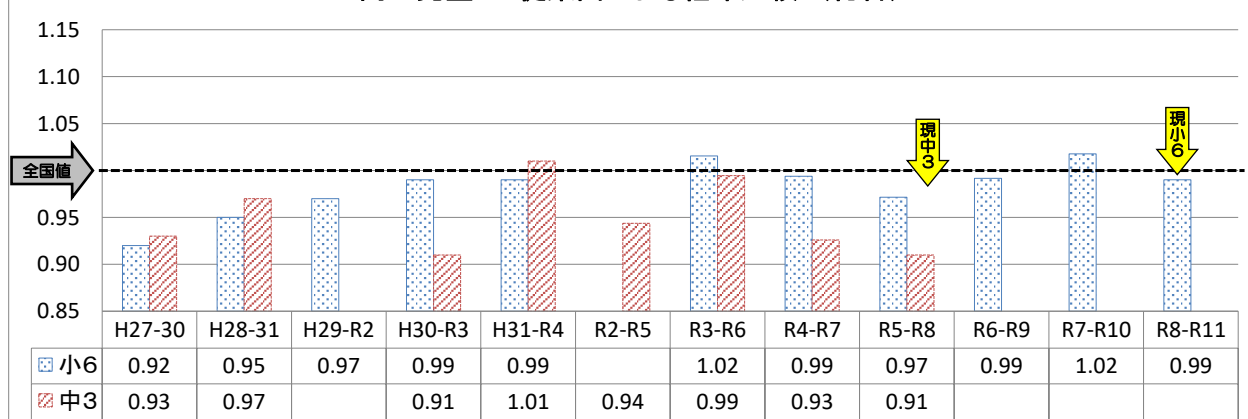
小学校(同一学年)



中学校(同一学年)



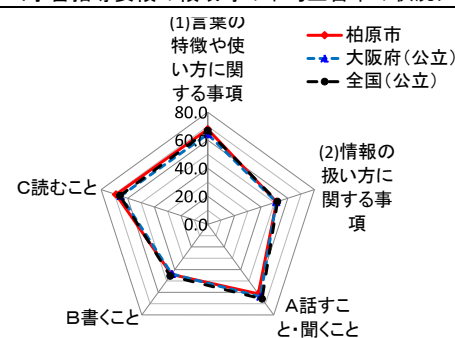
同一児童・生徒集団による経年比較 (総合)



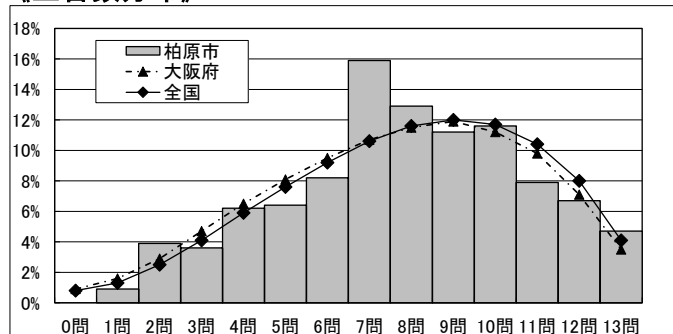
教科問題【問題別調査結果】（小学校）

国語		《問題別調査結果》						
分類		区分	対象設問数(問)	正答率(%)		差 (市・全国)	＜学習指導要領の領域等の平均正答率の状況＞	
			柏原市	大阪府	全国			
全体			13	60	59	60.9		▲ 0.9
学習指導要領の領域等	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に關する事項	4	67.8	64.4	66.8	1.0	(1)言葉の特徴や使い方に關する事項 (2)情報の扱い方に關する事項 (3)読むこと 柏原市 大阪府(公立) 全国(公立)
		(2)情報の扱い方に關する事項	2	51.6	51.4	52.3	▲ 0.7	
		(3)我が国の言語文化に關する事項	0					
	思考力、判断力、表現力等	A話すこと・聞くこと	3	61.4	63.9	65.8	▲ 4.4	
		B書くこと	2	44.2	43.8	45.7	▲ 1.5	
		C読むこと	2	68.8	65.3	65.9	2.9	
	評価の観点	知識・技能	6	62.4	60.1	62.0	0.4	
		思考・判断・表現	7	58.6	58.6	60.1	▲ 1.5	
主体的に学習に取り組む態度		0						
問題形式	選択式	9	59.2	60.4	61.9	▲ 2.7		
	短答式	2	67.9	60.2	62.6	5.3		
	記述式	2	57.8	53.2	54.9	2.9		

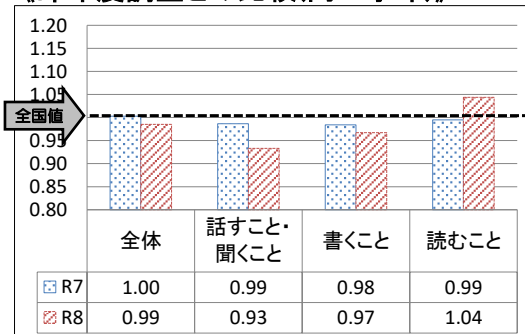
＜学習指導要領の領域等の平均正答率の状況＞



《正答数分布》



《昨年度調査との比較(同一学年)》

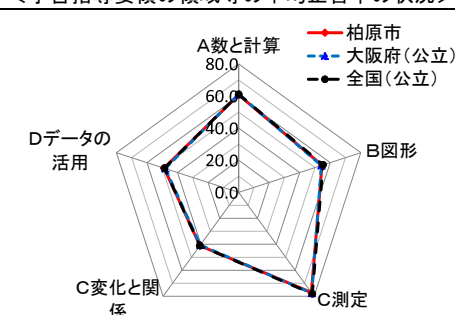


※同一集団の経年比較ではない

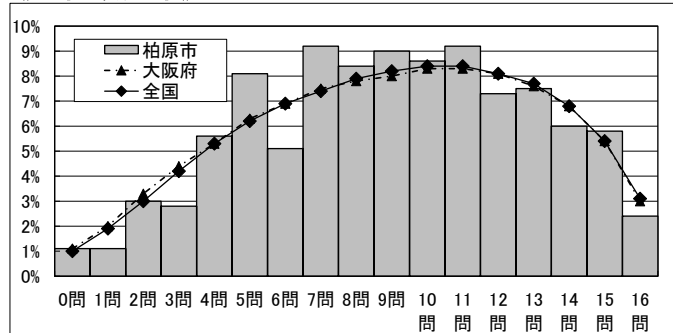
算数		《問題別調査結果》				
分類	区分	対象設問数(問)	正答率(%)			差 (市-全国)
	全体	16	56	56	56.4	▲ 0.4
学習指導要領の領域	A数と計算	8	60.7	61.1	61.1	▲ 0.4
	B図形	4	54.6	54.2	55.3	▲ 0.7
	C測定	1	77.1	77.6	78.1	▲ 1.0
	C変化と関係	3	41.0	40.6	41.1	▲ 0.1
	Dデータの活用	4	48.8	48.0	48.6	0.2
評価の観点	知識・技能	12	59.7	59.8	60.1	▲ 0.4
	思考・判断・表現	4	46.2	44.9	45.4	0.8
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	5	56.7	55.8	56.0	0.7
	短答式	8	58.8	59.1	59.7	▲ 0.9
	記述式	3	49.2	48.1	48.5	0.7

＜学習指導要領の領域等の平均正答率の状況＞	
	● 柏原市 ▲ 大阪府(公立) ● 全国(公立)

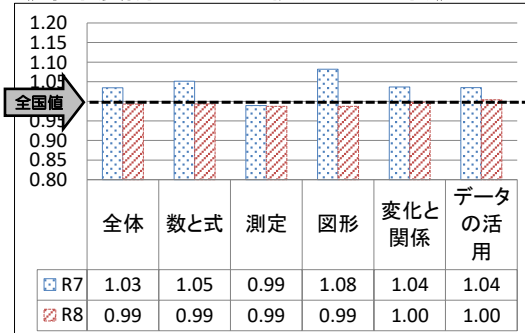
＜学習指導要領の領域等の平均正答率の状況＞



《正答数分布》



《昨年度調査との比較(同一学年)》



※同一集団の経年比較ではない

○正答率が高い問題

国語

問題番号	3	三	(2)
問題の概要	【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く		
出題の趣旨	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる		
領域	読むこと	評価	思考・判断・表現 形式 記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	83.3	11.6
大阪府	76.4	14.8
全国	76.4	15.6

正答例

わたしは『「苦手でも好きなこと」がある』という筆者の言葉に共感しました。わたしも走ることが苦手で運動会がいやだなと思っていただけ、休み時間におにごっこをするのは大好きです。これからは何でも好きいだと思わずに、どうすれば好きになれるかを考えたいです。

(2) 林さんは、小川さんと話し合ったことをもとに、改めて「文章」を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめることにしました。あなたなら、「文章」を読んで考えたことをどのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

○「文章」を読んで、考えたことを書くこと。
○「文章」から言葉や文を取り上げて書くこと。
○あなたの経験を書くこと。

（条件）

【話し合いの様子の一部】

林さん 私は「苦手」と「嫌い」という題名の文章が心に残ったんだ。この文章の中の（ ）部アを示しながら、この部分が特に考えさせられたんだ。

小川さん どんなことを考えたの。

林さん この部分のあとにいろいろな事例が出てくるでしょ。これらの事例を読んだら、自分にも同じようなことがあると、はっとしたんだ。例えば、自分に置きかえると、

小川さん なるほど。文章と自分の経験を結び付けて考えたんだね。

林さん そうなんだ。この文章を読んで、これまでの自分にはない考えだったけれど、なるほどと思ったよ。小川さんは、どんなことを考えたの。

小川さん ぼくは、この文章を読んで、筆者が書いていることと少しちがうことを考えたんだ。「苦手だからどうしても嫌い」ということもあるだろうし、「得意だけど嫌い」ということもあるんじゃないかなと思うんだけど、どう思う。

（話し合いが続く）

三 林さんは「文章」を読んで、自分の考えをまとめるために、同じ文章を読んだ小川さんと話し合うことにしました。次の「話し合いの様子の一部」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

（辻村深月 「苦手」と「嫌い」による）

③ 林さんの学級では、自分の心に残った文章について考えたことをまとめることにしました。林さんは、「苦手」と「嫌い」という題名の文章を選んで読んでいます。次は、林さんが読んだ「文章」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

▼正答率が低い問題

国語

問題番号	1	二	(1)
問題の概要	【動画の一部】の工夫として適切なものを選択する		
出題の趣旨	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる		
領域	話すこと・聞くこと	評価	思考・判断・表現 形式 選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	52.4	0.0
大阪府	57.0	0.6
全国	60.2	0.6

(1) 同野さんたちのグループは、【動画の一部】をくふうしてさっさいしました。そのくふうとして適切なものを、次の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

1 草花で遊べる場所への行き方を映像で示すことで、草花遊びへの関心を高めている。

2 くき笛の実際の音を添えて示すことで、言葉の説明だけでは分かりにくい内容を伝わるようにしている。

3 くき笛を作る映像に文字の説明を加えて示すことで、遊び方の手順が伝わるようにしている。

4 くきの長さや映像で比べて示すことで、くき笛にしやすいたんぼを見分けやすくしている。

5 手元や口元を大きく映して映像で示すことで、くき笛の遊び方が伝わるようにしている。

【動画の一部】

映像	音声
同野・水谷「音を鳴らして遊ぼう。」	
同野「みんなさん、この音を聞いてください。」	同野「ピー♪(くき笛の音)」
同野「これはたんぼで作ったくき笛の音です。」	同野「これはたんぼで作ったくき笛の音です。」
水谷「どうしたらこんな音が出るんですか。」	水谷「くき笛は、たんぼの花の部分を取りのぞいて」
水谷「片方のくきの先をつぶして作ります。」	水谷「つぶした方をくちびるでくわえ、風船をふくらませるように息をふきこむと」
水谷「くき笛の長さが変わると、音の高さも変わります。いっしょにふいてみましょう。」	水谷「くき笛の長さが変わると、音の高さも変わります。いっしょにふいてみましょう。」
同野「友達といっしょに音を鳴らすと音が重なって、とても楽しいですね。」	同野「友達といっしょに音を鳴らすと音が重なって、とても楽しいですね。」

二 同野さんたちのグループは、「構成メモ」をもとに、「中①」を次の「動画の一部」のトサえいしました。これをよく読んで、あとの(1)から(3)の問いに答えましょう。

【同野さんたちの考え】

草花遊びは一人でできるものもあるけれど、みんなで遊べるものをしようかというほうが、休み時間をより楽しく過ごせると思うな。



同野さん 原田さん 水谷さん

① 同野さんの学級では、学校生活をより楽しくするために、休み時間の過ごし方を動画にして学校のみんなにしようかという話し合いをしました。同野さんたちのグループは、草花遊びをしようかという話し合っています。次の「同野さんたちの考え」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

最も多い誤答

【解答類型2・3】 反応率=42.9%(全国36.0%)
=「2」「5」のいずれかを解答していないもの

正答例

2・5

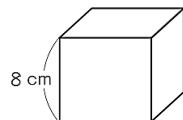
○正答率が高い問題

算数

問題番号	1	(1)	
問題の概要	一辺が8cmの立方体の体積を求める式を書く		
出題の趣旨	立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる		
領域	図形	評価	知識・技能 形式 短答式

- (1) 1 辺が8 cm の立方体の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。
ただし、計算の答えを書く必要はありません。

正答例 $8 \times 8 \times 8$



	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	78.2	0.4
大阪府	70.7	1.3
全国	72.7	1.3

▼正答率が低い問題

算数

問題番号	1	(2)	
問題の概要	直方体の箱の形の六つの面のうち、四つの面が示されたとき、残りの二つの面の縦と横の長さを書く		
出題の趣旨	直方体の箱の形を構成する面について理解しているかどうかをみる		
領域	図形	評価	知識・技能 形式 短答式

- (2) 図1のような直方体の箱があります。

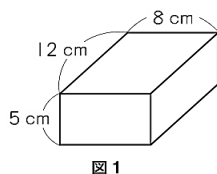


図1

図1の箱には6つの面があり、下の長方形はそのうちの4つの面です。

正答例 $5 \text{ cm} \cdot 12 \text{ cm}$

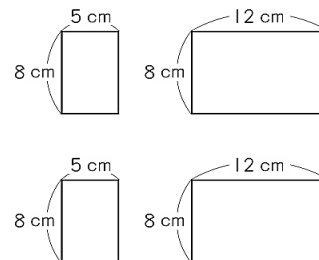


図1の箱には、上の4つの面のほかに、形も大きさも同じ2つの長方形の面があります。その長方形の縦と横のそれぞれの長さを書きましょう。

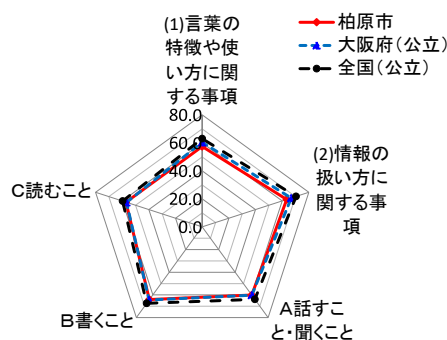
最も多い誤答

【解答類型3】=「 $8 \text{ cm} \cdot 12 \text{ cm}$ 」
反応率=17.1%(全国14.6%)

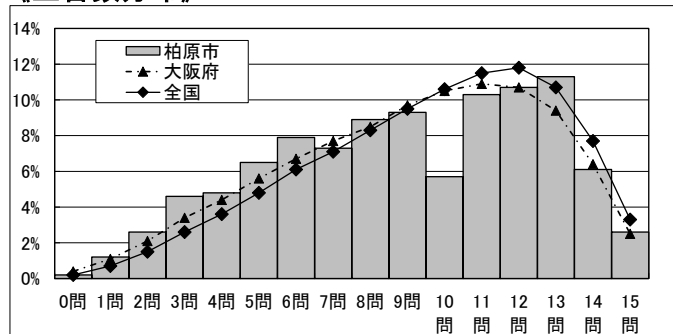
教科問題【問題別調査結果】（中学校）

国語		《問題別調査結果》				
分類	区分	対象設問数(問)	正答率(%)			差(市-全国)
	全体	15	柏原市	大阪府	全国	
学習指導要領の領域等	知識及び技能	(1)言葉の特徵や使い方に關する事項	5	60	61	▲ 3.9
		(2)情報の扱い方に關する事項	1	57.4	60.4	▲ 5.6
		(3)我が國の言語文化に關する事項	0	63.4	66.8	▲ 7.0
	思考力、判断力、表現力等	A話すこと・聞くこと	3	60.1	60.2	▲ 3.8
		B書くこと	3	64.1	64.5	▲ 3.3
		C読むこと	3	57.2	56.8	▲ 2.5
評価の観点	知識・技能	6	58.4	61.4	64.2	▲ 5.8
	思考・判断・表現	9	60.5	60.5	63.7	▲ 3.2
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	68.4	70.3	72.7	▲ 4.3
	短答式	3	51.2	52.5	55.8	▲ 4.6
	記述式	3	41.8	40.9	45.5	▲ 3.7

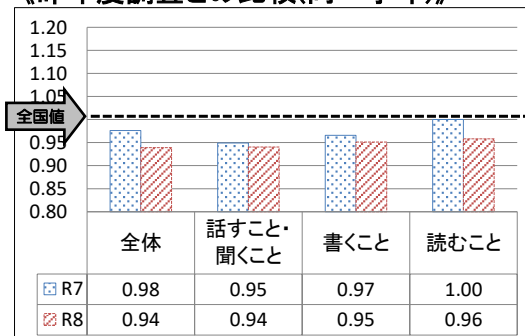
＜学習指導要領の領域等の平均正答率の状況＞



《正答数分布》



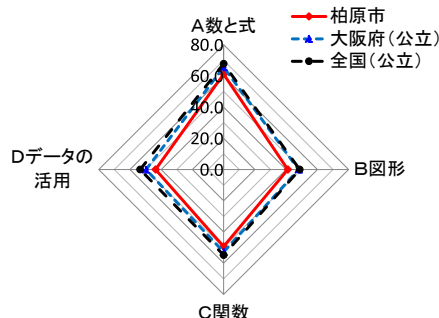
《昨年度調査との比較(同一学年)》



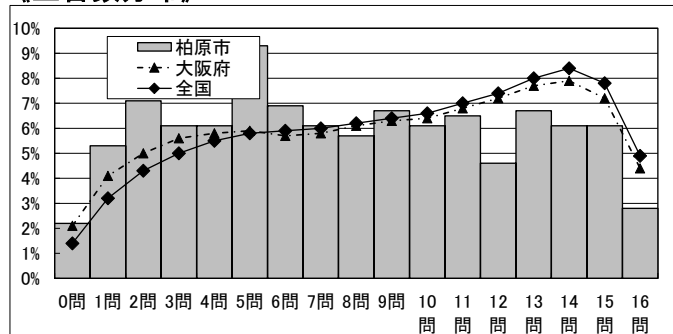
※同一集団の経年比較ではない

数学		《問題別調査結果》				
分類	区分	対象設問数(問)	正答率(%)			差(市-全国)
	全体	16	柏原市	大阪府	全国	
学習指導要領の領域	A数と式	5	50	55	57	▲ 7.0
	B図形	4	61.1	65.6	67.8	▲ 6.7
	C関数	3	41.1	48.0	48.7	▲ 7.6
	Dデータの活用	4	49.3	52.8	54.8	▲ 5.5
評価の観点	知識・技能	12	43.6	49.7	53.5	▲ 9.9
	思考・判断・表現	4	55.6	60.9	63.0	▲ 7.4
	主体的に学習に取り組む態度	0	31.4	36.6	39.1	▲ 7.7
問題形式	選択式	3	52.4	56.1	59.3	▲ 6.9
	短答式	9	56.6	62.6	64.2	▲ 7.6
	記述式	4	31.4	36.6	39.1	▲ 7.7

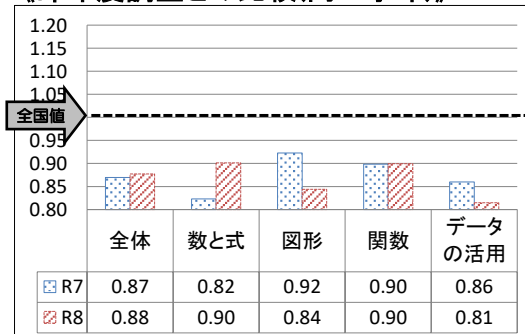
＜学習指導要領の領域等の平均正答率の状況＞



《正答数分布》



《昨年度調査との比較(同一学年)》



※同一集団の経年比較ではない

▼正答率が低い問題

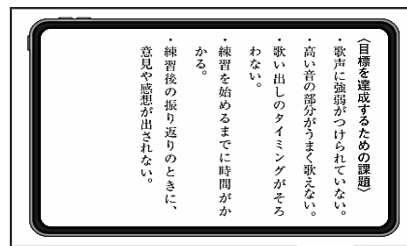
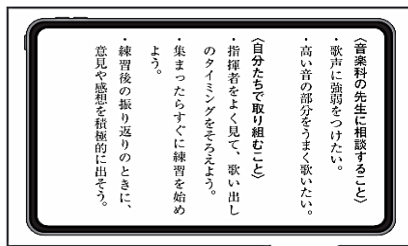
国語

問題番号	2	三	
問題の概要	話し合いを受けて整理したタブレット端末の画面を説明したものとして適切なものを選択する		
出題の趣旨	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるかどうかをみる		
領域	情報の扱いに関する事項	評価	知識・技能 形式 選択式

問題番号	2	四	
問題の概要	話し合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く		
出題の趣旨	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる		
領域	話すこと・聞くこと	評価	思考・判断・表現 形式 記述式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	63.4	1.0
大阪府	66.8	0.5
全国	70.4	0.4

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	45.9	22.2
大阪府	47.4	18.9
全国	52.7	14.7



話し合いを受けて整理した画面

大森 先生、このあとどうしていいかを考えよう。私は、歌の表現の仕方に悩むもの、音楽科の先生に相談するのがいいと思います。私もそう思います。ただ、「歌い出しのタイミングがそろわない」というのは、指揮者を見てタイミングをそろえろ、自分たちで取り組むことができない気がします。

山下 そうですね。では、まずは自分たちで取り組んでみましょう。

大森 賛成です。

山下 いろいろな意見が出たので、今まで話し合ったことを受けて、「音楽科の先生に相談すること」と「自分たちで取り組むこと」に整理してみようか。

石川 先生や学級のみんなに伝える言い方になっていいと思います。

大森 この内容をみんなにどのように伝えるかが大切ですね。

山下 そうですね。では、この「自分たちで取り組むこと」は、学級のみんなにどのように伝えるとよいでしょうか。

大森 この画面をオンライン上の学級のページに載せるのがいいと思います。タブレット端末を見て、取り組むことを一つ一つ確認することができると、練習するときに気を付けることができると思います。

石川 私は、練習ごとに一つずつ取り組むことを呼びかけていくのがいいと思います。一つ一つしっかりと意識しながら練習できると思うからです。

山下 二つの意見が出ましたね。では、話し合いをまとめていきましょう。

大森 「美しい歌声を響かせよう」という目標に向けて練習するために、学級のみんなにどのように伝えるといいでしょうか。

話し合いの一部

山下 私たちの学級の目標は、「美しい歌声を響かせよう」です。アンケートで「目標を達成するための課題」として挙げられたものを、タブレット端末で共有したので、画面を見てください。①まずみんながどんなことを課題として考えているかを整理した上で、どうしていいかを考えようか。

石川 そうですね。「目標を達成するための課題」を見ると、歌の表現の仕方に関わるものと、練習への取り組み方に関わるものの二つに分けられるのではないのでしょうか。

山下 私もそう思います。例えば、「歌声に強弱がつけられない」と「高い音の部分がうまく歌えない」は、歌の表現の仕方になりますよね。

石川 「歌い出しのタイミングがそろわない」もそれに入ります。

大森 そうすると、それ以外の「練習を始めるまでに時間がかかる」「練習後の振り返りのときに、意見や感想が出されない」は、練習への取り組み方に関わるものになりますね。

山下 まずは、「目標を達成するための課題」を二つに分けられましたね。

合唱コンクールの委員である山下さん、石川さん、大森さんは、学級の目標を達成するための課題についてアンケートをとり、その解決のために、出された意見をタブレット端末で共有しながら話し合っています。次のアンケートの結果を示した画面で、話し合いの一部、「話し合いを受けて整理した画面」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【アンケートの結果を示した画面】

【話し合いの一部】

三 正答例

4

最も多い誤答
【解答類型2】=「2」
反応率=17.6%(全国13.8%)

四 正答例

石川さんが言うように、練習ごとに一つ一つ呼びかけるのがよいと思います。学級のページに載せればいつでもまとめて確認できますが、一つずつ練習の場で伝えた方が、全員が同じ意識で歌えるからです。

最も多い誤答
【解答類型3】= 条件2を満たしていない
反応率=13.1%(全国15.1%)

四 【話し合いの一部】で山下さんは、「美しい歌声を響かせよう」という目標に向けて練習するために、学級のみんなにどのように伝えるといいでしょうか」と投げかけています。これを受けて、あなたらどのような意見を述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、この場での話し合いの経緯が分かるようにするために、話し合いの中で出た意見を時間の流れに沿って並べている。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加たりしてもかまいません。

条件1 学級のみんなにどのように伝えるといいかについて、自分の考えを理由を告げること。

条件2 条件1について、大森さんと石川さんの意見の両方を取り上げながら書くこと。

④

1 これから取り組むべきことを明確にするために、三人で話し合った課題を重要なものとして並べている。

2 三人の考えを学級に分かりやすく伝えられるようにするために、アンケートの結果と話し合った内容を並べている。

3 これまでの話し合いの経緯が分かるようにするために、話し合いの中で出た意見を時間の流れに沿って並べている。

4 このあと取り組んでいきたいことを具体的に示すために、挙げられた課題を解決の仕方に分けて分類している。

▼正答率が低い問題

数学

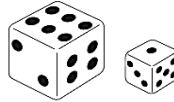
問題番号	5		
問題の概要	大小二つのさいころを同時に投げるとき、大きいさいころの目が6で小さいさいころの目が1である確率を求める		
出題の趣旨	起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めることができるかどうかをみる		
領域	データの活用	評価	知識・技能 形式 短答式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	47.9	5.7
大阪府	58.9	6.0
全国	60.2	4.8

- 5 大小2つのさいころがあります。この2つのさいころを同時に投げるとき、大きいさいころの目が6であり、小さいさいころの目が1である確率を求めなさい。ただし、どちらのさいころも1から6までの目の出方は、同様に確からしいものとします。

正答例

1 / 36



最も多い誤答

【解答類型5】=「1/6」
反応率=16.8%(全国11.1%)
【解答類型4】=「1/12」
反応率=10.5%(全国5.6%)

▼正答率が低い(無解答率も高い)問題

数学

問題番号	9	(1)	
問題の概要	全校生徒の睡眠時間の度数分布表において、最小の階級から6時間以上7時間未満の階級までの累積度数を求める		
出題の趣旨	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる		
領域	データの活用	評価	知識・技能 形式 短答式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	31.7	21.6
大阪府	41.9	17.6
全国	46.0	14.3

- 9 保健委員の桃音さんと悠真さんは、自分たちの学校の生徒の睡眠時間の特徴について、保健だよりで報告することにしました。そこで、全校生徒300人を対象に、ある日の起床時刻と就寝時刻を調査し、睡眠時間を調べました。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) 二人は、全校生徒の睡眠時間の分布の傾向を調べようと考え、次の表にまとめました。

正答例 90

最も多い誤答

【解答類型3】=「0.25」
反応率=9.9%(全国9.2%)

全校生徒の睡眠時間の度数分布表

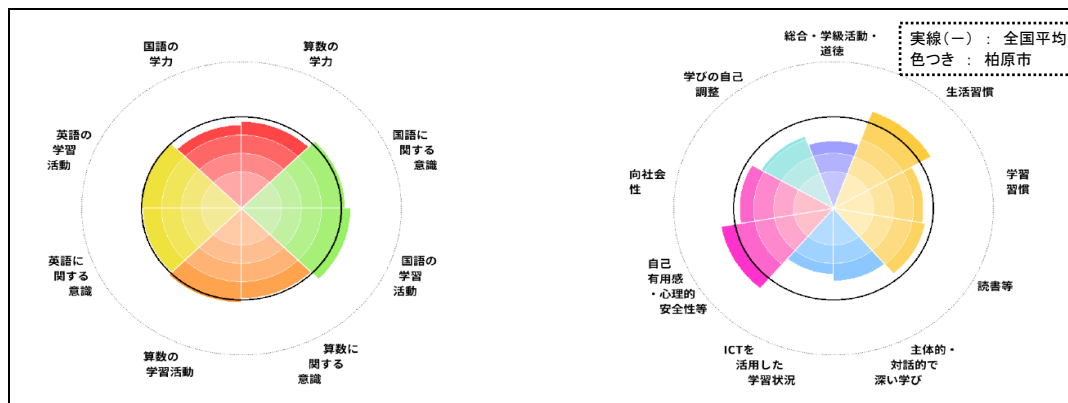
階級(時間)	度数(人)	累積度数(人)
以上 未満		
4 ~ 5	1	
5 ~ 6	14	
6 ~ 7	75	ア
7 ~ 8	126	
8 ~ 9	62	
9 ~ 10	20	
10 ~ 11	2	
合計	300	

全校生徒の睡眠時間の度数分布表の「ア」には最小の階級から6時間以上7時間未満の階級までの累積度数が入ります。「ア」に当てはまる値を求めなさい。

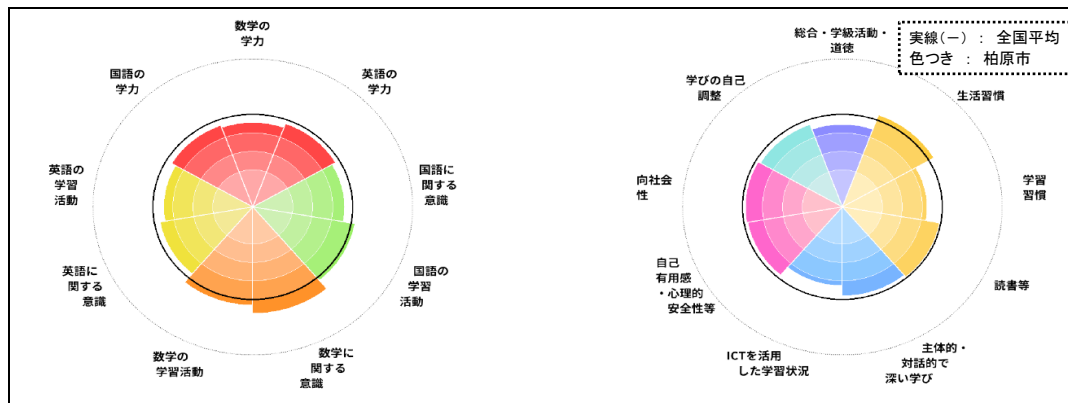
全国学力・学習状況調査結果チャート(全国基準)

※教科に関する調査および児童生徒質問調査の結果を全国値を基準に図示したもの

小学校



中学校



児童・生徒質問調査の回答状況《概要》

【基本的生活習慣等】

○多くの項目で、8～9割の児童生徒が肯定的な回答をしている（就寝時間は若干の課題あり）。

▼平日にSNSや動画視聴をする時間が長い。

「4時間以上」が小学校2～3割、中学校4割程度（全国3割程度）。

【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

○ほとんどの項目で、8～9割の児童生徒が肯定的な回答をしている。

【学習習慣、学習環境等】

▼平日・休日ともに、学校の授業以外で勉強をしている時間が短い（対全国）。

平日：「1時間以上」が小学校4割（全国5割）。「全くしない」も小学校1割以上（全国1割未満）。

休日：「1時間以上」が約3割（全国4～5割）。「全くしない」も2～3割（全国1～2割）。

▼平日（授業外）にタブレット端末等のICT機器を学習に使うことが少ない（対全国）。

「全く使っていない」が3～4割（全国2～3割）。

▼授業外に読書をする時間が短く、学校図書館に行く機会も少ない（対全国）。

読書を「全くしない」が3～4割、図書館に「ほとんど・全く行かない」が6～8割（全国5～7割）。

▼6～7割の児童生徒が、休日に地域の図書館にほとんど行かない。

▼8割程度の児童生徒が、新聞をほとんど読まない。

【ICTを活用した学習状況】

○8～9割の児童生徒がインターネットでの情報収集におけるICT活用に自信を持っている。

▼授業中にタブレット端末等のICT機器を使用する機会が少ない（対全国）。

「ほぼ毎日使用している」が2～4割（全国4～5割）。

▼文章の作成、情報の整理、プレゼン資料の作成等における活用に自信を持っている児童生徒が少ない（対全国）。

情報の整理：「肯定的」が6割程度（全国7割程度）

プレゼン資料の作成：「肯定的」が小学校6割程度（全国7割程度）

【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】

○（道徳）8割以上の児童生徒が自分の考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいる。

○（国語、算数・数学）多くの項目で、8～9割の児童生徒が肯定的な回答をしている。

▼（総合）探究的に学習活動に取り組んだり、ICTで情報収集・整理・発表をしたりする機会が少ない（対全国）。

「肯定的」が7割程度（全国8割程度）。

▼（英語）複数の項目で、肯定的な回答が5割未満である。

児童・生徒質問調査【回答状況一覧】

質問番号が塗りつぶされているもの(緑色)
教科の平均正答率との相関関係が
指摘されている項目(国立教育政策研究所)

①全国との比較による評価 ※肯定的回答について比較(例外は★印で詳細を記載)

「◎」+10以上 「○」+5以上 「▽」-5以下 「▼」-10以下

②肯定的回答の割合(市)による評価

「◎」90%以上 「○」80%以上90%未満 「▽」20%以上50%未満 「▼」20%未満

※「-」は選択肢の内容等をふまえ、評価を行っていない項目。

【基本的生活習慣等】

		①全国との比較		②肯定的回答	
小	中	小	中	小	中
1	1	朝食を毎日食べていますか			
2	2		▽	◎	○
3	3	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか			
4	4		▼	◎	◎
5	5			◎	◎
6	6			◎	◎
7	7			◎	◎
8	8			◎	◎
9	9			◎	◎
10	10			◎	◎
11	11			◎	◎
12	12			◎	◎
13	13			◎	◎
14	14			◎	◎
15	15			◎	◎
16	16			◎	◎
17	17			◎	◎
18-19	18-19			◎	◎
20	20			◎	◎
21	21			◎	◎

【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

		①全国との比較		②肯定的回答	
小	中	小	中	小	中
8	8	自分には、よいところがあると思いますか			
9	9			◎	◎
10	10			◎	◎
11	11			◎	◎
12	12			◎	◎
13	13			◎	◎
14	14			◎	◎
15	15			◎	◎
16	16			◎	◎
17	17			◎	◎
18-19	18-19			◎	◎
20	20			◎	◎
21	21			◎	◎

【学習習慣、学習環境等】

		①全国との比較		②肯定的回答	
小	中	小	中	小	中
22	22	分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか			
23	23			◎	◎
24	24			◎	◎
25	25			◎	◎
26	26			◎	◎
27	27			◎	◎
28	28			◎	◎
29	29			◎	◎
30	30			◎	◎
31-32	31-32			◎	◎

【地域や社会に関わる活動の状況等】

		①全国との比較		②肯定的回答	
小	中	小	中	小	中
33	33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか			
34	34			◎	◎

【ICTを活用した学習状況】

		①全国との比較		②肯定的回答	
小	中	小	中	小	中
35	35			◎	◎
36-1	36-1			◎	◎
36-2	36-2			◎	◎
36-3	36-3			◎	◎
36-4	36-4			◎	◎
37	37			◎	◎

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

		①全国との比較		②肯定的回答	
小	中	小	中	小	中
38	38	前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか			
39	39			◎	◎
40	40			◎	◎
41	41			◎	◎
42	42			◎	◎
43	43			◎	◎
44	44			◎	◎

児童・生徒質問調査【回答状況一覧】

質問番号が塗りつぶされているもの(緑色)
教科の平均正答率との相関関係が
指摘されている項目(国立教育政策研究所)

①全国との比較による評価 ※肯定的回答について比較(例外は★印で詳細を記載)

「◎」+10以上 「○」+5以上 「▽」-5以下 「▼」-10以下

②肯定的回答の割合(市)による評価

「◎」90%以上 「○」80%以上90%未満 「▽」20%以上50%未満 「▼」20%未満

※「-」は選択肢の内容等をふまえ、評価を行っていない項目。

45	45	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか			○	○
46	46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか			○	◎

【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

①全国との比較 ②肯定的回答

小	中	内容	小	中	小	中
47	47	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	▽	▽		
48	48	総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	▽	▽		
49	49	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか				○
50	50	学級会(活動)における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか				
51	51	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか			○	○

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語)】

①全国との比較 ②肯定的回答

小	中	内容	小	中	小	中
52	52	国語の勉強は得意ですか				▽
53	53	国語の勉強は好きですか				
54	54	国語の授業の内容はよく分かりますか			○	
55	55	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか			◎	○
56	56	前年度までにうけた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか	○		○	
57	57	前年度までにうけた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか	○		○	
58	58	前年度までにうけた授業では、国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていたか		△	○	△
59	59	前年度までにうけた授業では、国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか		△		
58	58	前年度までに受けた授業では、国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていましたか		△		○
59	59	前年度までに受けた授業では、国語の授業で、文章を書いた後に、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしていましたか		△		

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】

①全国との比較 ②肯定的回答

小	中	内容	小	中	小	中
60	60	算数・数学の勉強は得意ですか		○		
61	61	算数・数学の勉強は好きですか		○		
62	62	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか		○		○
63	63	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか			◎	○
64	64	前年度までに受けた授業では、算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていましたか			○	
65	65	前年度までに受けた授業では、算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか			○	○
66	66	前年度までに受けた授業では、算数・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか				
67	67	前年度までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか		△	◎	△
67	67	前年度までに受けた授業では、文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができましたか		▽		

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(理科)】

①全国との比較 ②肯定的回答

小	中	内容	小	中	小	中
68	68	※CBT調査によるランダム回答のため省略				

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)】

①全国との比較 ②肯定的回答

小	中	内容	小	中	小	中
69	69	英語の勉強は得意ですか		▽		▽
70	70	英語の勉強は好きですか				▽
71	71	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか			▽	△
71	71	英語の授業の内容はよく分かりますか				
72	72	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)		△	▽	△
72	72	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか				○
73	73	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか				▽
74	74	キーボード(画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む)を使って英語を書くことができますか				▽
75	75	これまで、学校の授業やその他の学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)		△		▽
73	76	家庭学習の課題(宿題)として、どの程度、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声の聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか ※行っていない	▽	▽	-	-
77	77	※CBT調査によるランダム回答のため省略				
78	78	前年度までに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか				○
79	79	前年度までに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか				○
80	80	前年度までに受けた授業では、キーボード(画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む)を使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか		▽		

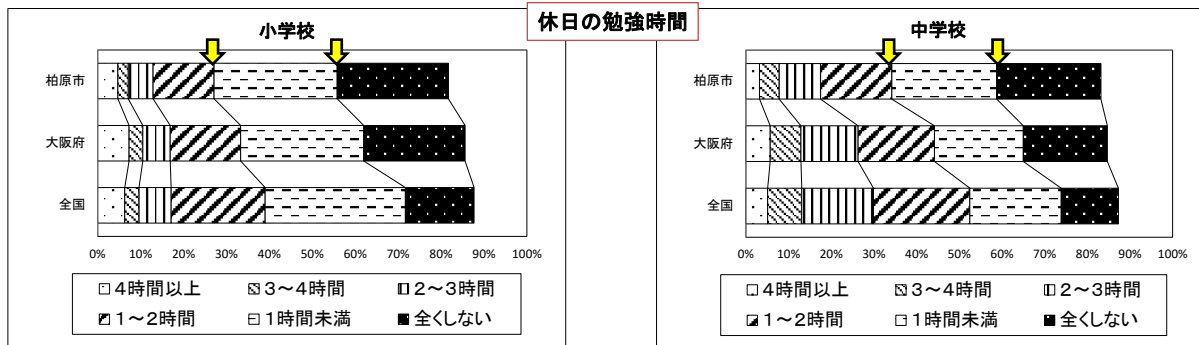
児童・生徒質問調査【特徴的な項目について】

●教科の平均正答率との相関関係が指摘されている項目について

※課題が見られる項目についてのみ記載

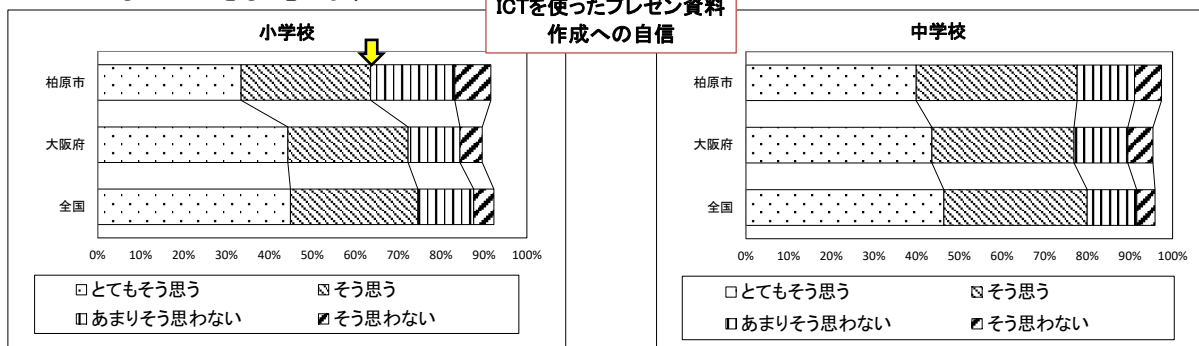
【学習習慣、学習環境等】

- (25) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



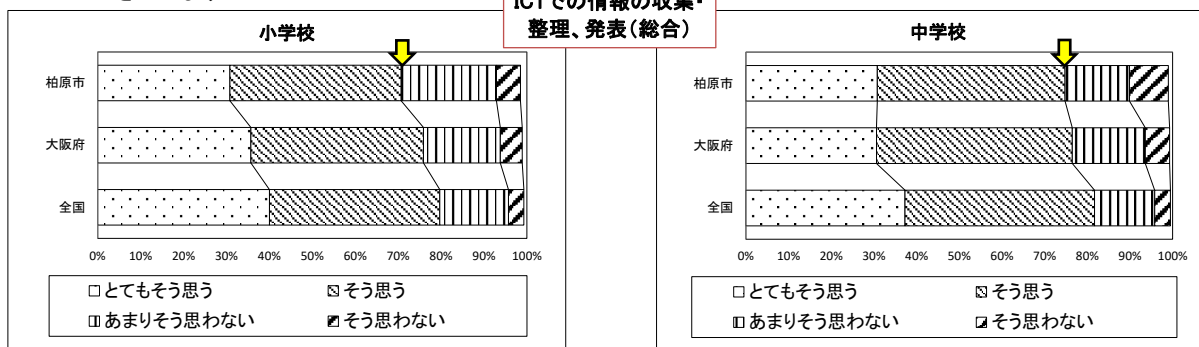
【ICTを活用した学習状況】

- (36-4) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

- (48) 総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか



●ICT機器の活用頻度について

- (35) 前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

